

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 3 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第47回例会 昭和58年7月19日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 47名 出席 34名
出席率 72.34%

◇ 前回 7月12日 (修正出席率) 97.87% make up

宮尾君(7/7瑞穂), 水野(賀)君(7/6和合)佐野君(7/16守山), 笹野君(7/14西), 鈴木(猛)君(7/6南)

◇ ビジター紹介 6名

◇ ニコボックス

大口君(前回ゴルフ会で準優勝しました。又最近ちょっと良い事がありました), 林君(前回ゴルフ会で優勝しました, その上とりきり戦でカップをいただきます), 大谷君(本日卓話させていただきます), 鈴木(猛)君(前年度100%出席のよろこびにあたり), 佐野君(前年度100%出席のよろこびにあたり), 尾関君(誕生日)三輪君(夫人誕生日), 橋本君(誕生日), 鈴木(猛)君(誕生日), 新美君(結婚記念祝)

◇ 三輪幹事報告

1. 8月16日(火)の夜間例会は創立して1年でもあり, 年度変わりの初めての夫人同伴の例会でもありますので多数御参加下さい。
2. 次回例会終了後, 第1回理事会を行いますので理事・役員の方々はお残り下さい。

◇ 橋本会報委員長報告

今年度より卓話を当クラブ外の方にお願ひすることになりました。その際, 誠に御面倒ですが当番にあられた各会員の方々より講演される方に, 原稿用紙(400字詰)2, 3枚にまとめた要旨を当日御持参下さるようお願いして下さい。よろしく御協力をお願いします。

◇ 西川青少年奉仕委員長報告

名古屋RC主催の第20回ロータリー少年キャンプが来たる7月30日(火)より4泊5日で行なわれることになっています。中高生男女を問わず多数御参加下さるようよろしく御検討下さるようお願いいたします。

◇ 竹内会長挨拶

この7月24日の日付の週刊誌をみておりましたら「アメリカ通信」というコラムに「猫も杓子も訴訟, 訴訟…ああ法治国家!」というタイトルでこう書いてありました。『小学生の女の子が学校のソフトボールの試合でフライをとりそこねて指をくじいた。彼女の親はコーチの監督が悪いと学校を訴えた。ミシガン大学の学生はドイツ語の点が悪かったのは教え方が悪いと大学相手に賠償請求訴訟。服役中の囚人が脱走を試みて失敗。刑期が伸びたのは脱走できるような疎漏な警備をしている刑務所の責任と逆に当局を訴えた等々……』『アメリカに暮していると何時訴えられるかも知れぬ乱世の真っ只中にいる思いがするから無事は名馬, 兎に角波乱なく老年に達するのは大変だと錯覚する, ああ法治国家!』と結んであります。

日本に於ても最近では随分と似たような社会風潮になって参りました。先日の例会のスピーチで尾関君が「長幼の序」というテーマでこの事にも少し触れておられました。「儒教の思想」というか, 東洋的社会慣習が社会に定着している処では折目切目というか物事の判断の物指しが割合適正であるように思えます。Rには4つのテストがあります。真実であるか, 公正であるか, 好意に基いているか, 皆のためになるか……と。

私, 初めはRともあろう謂わばエリートの団体が何故こんな小学生に教える様な事を大真面目で取組むのか奇妙にさえ感じました。が近頃は社会的の背景やら, 彼我の家庭的躰

の相異が中年の私が違和感を持った大きな理由ではないかと考えて居ります。先日の I. G. F. での講師のテーマは「me-ismからyou-ism」でした。これも社会風潮がme-ismが前に出過ぎると何かと世の中が円滑にゆかぬとのお考えでありましょう。

教育の荒廃が叫ばれて久しいですが何処が荒廃か。教科内容のレベルは向上し且つ普及度は世界のレベルで見比べても大変なものだと私は思います。然し国民性を無視し制度ばかりを直輸入、修身、公民教育の欠如、歴史と人間との関わり合いの無視等、この30年間 Knowledge はあっても wisdom に欠ける教育が今や社会で結実しようとしていると私は思います。

利己主張はあっても利他主張は姿が見えません。その意味でコメディな社会であればある程、単にロータリアンばかりでなく素朴な提唱、4つのテストがより一層頑味されるべきでありましょう。

◇講演

“私学雑感”

会員 大谷和雄君



江戸時代には藩校(塾)が各藩で盛に設置され255校にもおよんだ。また吉田松蔭の松下村塾に代表される私塾が各地に開かれ、手習所、寺小屋が庶民の教育に大きな役割を果たした。幕末の大阪では、寺小屋の数は2,500にもおよび、その生徒数は7,500名もあったという。明治5年には「学制」が公布されたが、塾や寺小屋などの私学を認め、「公学・私学・私塾・家塾」などのことばを使っている。明治7年には、官立・公立・私立学校の区別がなされ、「私立学校」の名称が用いられた。更に明治32年には「私立学校令」が制定、大正7年には大学令および高等学校令が改正され、私立の大学・高等学校の設置が認められた。この結果、私学において幼稚園から大学までの一貫教育が可能となり、発展の土台ができた。

いま全国の大学数は、451校うち私立は324校で71.8%、短期大学は523校うち436校で83.4%、高等学校は5,219校うち1,241校、中学校は10,810校うち550校、小学校は25,004校うち166校である。県内では大学31校うち

私立は24校、短大35校うち30校、高校211校うち49校、中学388校うち18校、小学校951校うち1校となっており、高等教育は私学がその8割を受け持っている。

これらの私立学校は、それぞれが特定の主義・信条により、自己の理想とする教育を行い、自己の理想とする人物を育成することを目的として創設されている。本県私学の原流をみると、文政から明治初期にかけて、現在の尾張・愛知・名古屋・東海・金城高等学校などの宗教教育を中心とする学校、明治30年代になると看護婦学校・裁縫女学校の桜花、藤の花・中京女子・淑徳・椋山・安城等の女子教育を中心とする学校が創設されている。

これら私学は創立者の強い個性によって創設され、その後継者達によって建学の精神が受けつがれ、それぞれ独自で自由な教育が行われている。

第9回ゴルフ会成績

R	NAME	O	I	G	Hcp	NET
優勝	林 淳三	47	45	92	16	76
2位	大口 弘和	50	51	101	24	77
3位	新美 敢	54	52	106	25	81
4位	三輪 康	49	54	103	22	81
5位	成田 良治	52	54	106	22	84
B. B	水野 民也	67	67	134	36	98

会長杯取り切り戦<優勝> 林淳三君

ニアピン賞 菅原君、新美君、菊池君

ドラゴン賞 成田君、松居君

ゴルフ会発足以来、回を重ねるごとにメンバーも腕を上げ、ますます充実してきました。去る7月15日(金)、第9回ゴルフ会が大変という悪天候にもかかわらず水野(民)直前会長をはじめ、総勢11名のメンバーで午前10時より三好CCにてスタート。今回は会長杯をねらう取り切り戦ということもあって、メンバーたちも真剣そのものの表情で取り組み、見事林君が第9回ゴルフ会の優勝、加えて取り切り戦優勝をさらっていきました。次回も多数御参加下さい。

(松居ゴルフ会幹事記)

◇例会変更のお知らせ

名古屋北RC 7/29(金)FSMの為、午後6時より加茂免にて。

◇次回例会(7月26日)

卓話 “ザ・ハート”

会員 和田正敏君

◇次々回例会(8月2日)

卓話 “試験管ペビーを巡って”

名古屋大学 助教授

蜷川 映巳 氏

(紹介者 竹内真三君)